

兵庫県知事 様

播磨臨海地域道路計画の撤回を求める署名

播磨臨海地域道路に反対し住民自治を守る高砂の会

【要請趣旨】

兵庫県は、播磨臨海地域道路(以下、臨海道路)建設にあたって、都市計画案を作成する中心的役割を持ち、これまで国や関係市町とともに協議・調整等を進めてきました。そして、2023年10月には、優先整備区間とされる32キロについて、詳細なルート案を発表しています。

しかし、そのルートは、高砂市内において、当初予定より北側にルート設定されたことにより、高砂町や西畑地区では、住宅や公園、そして3つの学校の敷地を通る計画となりました。また、北浜町西浜での土砂災害特別警戒区域の問題、高須地区や梅井地区での住宅や工場撤去の問題など、高砂市内で計画されている臨海道路のルート上では、多くの問題がきちんとした説明もされず、放置されたままとなっています。

そして、PCB盛り立て地や焼却処分問題で、高砂市の住民にこれまで深い傷を与えてきたPCB問題。それなのに、そのPCB盛り立て地に臨海道路を通せないのに、住宅地や学校に道路を通すなどということは、あまりにも住民をないがしろにした話です。

そもそも、臨海道路は、このように多くの住民や子どもたちを犠牲にしてまで、そして5,900億円という莫大な税金を使ってまで作るべき道路ではありません。しかも、5,900億円はあくまで計画段階での予算であり、完成までに1兆円を超えることも予想されます。臨海道路を作る目的の一つを国道2号線バイパスの渋滞緩和としていますが、今後、我が国では、急激な人口減少が予想されており、交通量が減少することは容易に想像がつきます。

また、先日、南海トラフ地震の臨時情報が出されましたが、私たちは、阪神淡路大震災で、阪神高速道路が横倒しになった光景を今でも忘れることはできません。しかも、臨海道路のルート上の地盤は、その多くが軟弱地盤です。いま、行うべきことは、新しい道路を建設することではなく、既存の道路の徹底した耐震補強なのです。

そして、この間、私たちは住民の方から、「住宅をつぶしてまでこんな道路が必要なのか」「なぜ、もっと南側を通さないのか」「学校がなくなってしまうのか、子どもたちがとても心配している」「こんな小さな町にダンプや重機が長期間にわたって入ってくると思うとぞっとする」「レトロな高砂の景観をつぶしてしまう」「住宅が奪われるという大変な問題なのにきちんとした説明がなされていない」など、多くの疑問や不安、不満の声を聞いてきました。

つきましては、地方自治の本旨である住民自治に基づき、以下の事項を、貴職のご決断で実現していただくことを強く要請いたします。

【要請事項】

播磨臨海地域道路計画を撤回してください

お名前	ご住所

※この署名に記載された個人情報はこの署名目的以外には使用いたしません。

取り扱い団体

「播磨臨海地域道路に反対し住民自治を守る高砂の会」
高砂市中島2丁目3-14

連絡先 090-6058-7509